

施策名：国土交通データプラットフォームの構築

国土交通省技術調査課 03-5253-8219

分野 データ活用基盤の整備

総合戦略該当箇所 横2-1-(1)-iii

予算額 令和3年度当初一般会計 90百万円

特徴・ポイント

✓ 国土、経済活動、自然現象に係るデータを連携させ、サイバー空間上でのシミュレーションが可能となるプラットフォームを目指す。

目的

• 国交省が自らが多く保有するデータと民間等のデータを連携し、フィジカル（現実）空間の事象をサイバー空間に再現するデジタルツインにより、業務の効率化やスマートシティ等の国土交通省の施策の高度化、産学官連携によるイノベーションの創出を目指す。

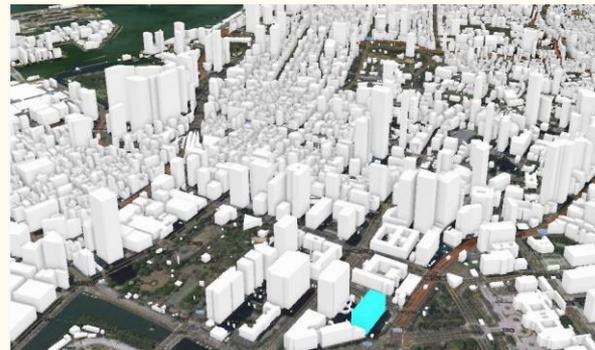
概要

• 「i-Construction」の取組で得られる3次元データを活用し、さらに官民が保有する様々な技術やデジタルデータとの連携を可能にするプラットフォームの構築により、新たな価値を創造。
 • 令和2年4月に、国や地方公共団体の保有する橋梁やトンネル、ダムや水門などの社会インフラの諸元やボーリング結果と連携し、同一地図上で表示・検索・ダウンロードを可能とした「国土交通データプラットフォームver1.0」を公表し、その後、連携データを随時拡充している。

<国土交通データプラットフォームの公開>

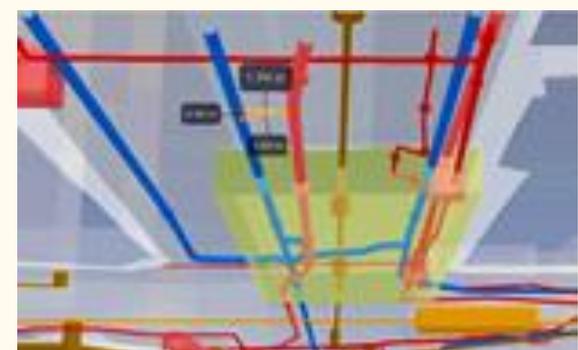


<3D都市モデルのイメージ>



3D都市モデル

<将来のデータ連携のイメージ>



ガスや水道等の地下構造物のデータ化

- <連携しているデータ>**
- 全国約8万件の施設
 - 全国約1.4万件の地質データ
 - 人流データ
 - 災害情報 等